

伊藤 美和子 専任講師

研 究 業 績

2024年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共）	西口光一編『文化と歴史の中の学習と学習者－日本語教育における社会文化的パースペクティブ』「第8章 第二言語学習と人格形成を研究する」168～187頁． 凡人社．	2008.5
	ロシア語教育研究会編『授業づくりハンドブック ロシア語』「第12章 授業をつくる」221～237頁． 大阪大学出版会	2008.12
	菅原健太・伊藤美和子・渡邊舞・明田川知美著『教育原理』「第2章外国の教育思想Ⅰ」18～31頁；「第3章外国の教育思想Ⅱ」32～44頁；「第9章外国の教育の歴史」130～141頁． 豊岡短期大学．	2019.3
論文（単）	コミュニカティブ・タスクが学習成果と学習活動に及ぼす影響 —ロシア語教育における言語活動理論の実践— 神戸大学発達科学部人間科学研究センター『人間科学研究』11巻1号：75～87頁．	2003.11
	A・A・レオンチェフの言語活動理論とヴィゴツキー． ヴィゴツキー学協会『ヴィゴツキー学』第5号：31～39頁．	2004.3
	どのように日本人学生を目覚めさせるのか？—言語活動の習得過程における人格発達の分析—（露語）． «Русский язык за рубежом» No. 3 『海外のロシア語』2004年3号：22～28頁．	2004.11
	人格活動アプローチが学習成果や学習活動、人格発達に及ぼす影響について（露語）． 日本スラブ東欧学会 «Japanese Slavic and East European studies» vol. 25：131～151．	2005.3
	ヴィゴツキーの人格論—構造・意味・社会・ドラマからの探求． ヴィゴツキー協会『ヴィゴツキー学』第8号：13～23頁．	2007.7
	ヴィゴツキーの発達論を基点に外国語教育の問題を再考する試み． 日本ロシア語教育研究会『ロシア語教育研究』創刊号：15～28頁．	2010.11
	ヴィゴツキーによるポテブニャの批判と受容—「内的形式」の解釈を中心に—． ヴィゴツキー学協会『ヴィゴツキー学』別巻第1号：17-27頁．	2010.12
	フンボルトとヴィゴツキーの比較研究：心と自然の媒介としての「内的形式」をめぐる（露語）． Материалы XV Международных чтений памяти Л. С. Выготского, Т.1. 『ロシア国立人文大学第15回ヴィゴツキー記念研究大会論集』第1巻：191～194頁．	2015.2
	日本の母語・外国語教育に対するグローバル化の影響と文化歴史的アプローチ（露語） Вестник РГГУ. Серия «Психология. Педагогика. Образование». № 4	2015.2

	(147). ロシア国立人文大学紀要 (心理学・教育学・教育) 147 巻 4 号 : 106~117 頁.	
	遊びにおける学びと大人の役割についての考察—ヴィゴツキーの遊び論を基礎に—. 豊岡短期大学『論集』第 14 号 : 375~384 頁.	2018.2
	子どもにおける詩的思考と言語表現の考察と教育への示唆—ヴィゴツキーの発達論を軸に—. ヴィゴツキー学協会『ヴィゴツキー学』別巻 5 号 : 145~155 頁.	2018.11
	保護者と子どもの今後の育ちを展望する支援の効果—「サンタクロースからのプレゼント」に関するアンケート調査をもとに—. 豊岡短期大学『論集』第 15 号 : 67~76 頁.	2019.3
	保育者養成課程における絵本理解を深める教育方法の実践—絵の分析と絵本作家による講演を中心に—. 豊岡短期大学『論集』第 17 号 : 85~94 頁.	2021.3
	ヴィゴツキーの発達論におけるポテブニャ言語学の役割—『教育心理学』を中心に—. ヴィゴツキー学協会『ヴィゴツキー学』増刊第 1 号 : 1~9 頁.	2021.11
	絵本理解を深める教育方法の実践—学生による絵本の翻訳を中心に—. 豊岡短期大学『論集』第 18 号 : 39~47 頁.	2022.3
	絵本の対話的鑑賞としての翻訳は文章に対する認識を高めるか—保育者養成課程における実践をもとに—. 関西教育学会『関西教育学会年報』通巻 46 号 : 72~76 頁.	2022.8
	寓話分析における形式と内容についての考察—ヴィゴツキーの芸術心理学に基づいて—. 『ヴィゴツキー学』増刊第 2 号 : 39-50 頁.	2023.11
	L. S. ヴィゴツキーの年齢発達論の原理的考察 : 保育者が 18 歳までの育ちを見通すために. 『花園大学社会福祉学部研究紀要』第 32 号 : 61~76	2024.3
翻訳 (共)	L. S. ヴィゴツキー著『情動の理論—心身をめぐるデカルト、スピノザとの対話』. 神谷栄司・土井捷三・伊藤美和子 他. 三学出版.	2006.7
	V. V.ソローキナ著『小学生の心のトラブル』. 中村和夫・伊藤美和子訳. 新読書社.	2008.7
	L. S. ヴィゴツキー著『「人格発達」の理論—子どもの具体的心理学』. 土井捷三・神谷栄司監訳. 三学出版.	2012.11
	ヴィゴツキー、ポラン著『言葉の内と外—パロールと内言の意味論』. 神谷栄司編集・訳・著述/小川雅美・伊藤美和子訳. 三学出版.	2019. 6
	ヴィゴツキー著『学齢期の児童学 - 子どもの文化的発達の理論 - 』 「第 4 章 学齢期における記憶」 「第 5 章 思考と言語」. 『ヴィゴツキー学別巻第 3 号』 ; 51~86 頁. 伊藤美和子・神谷栄司・土井捷三訳.	2014. 11
	ヴィゴツキー著『学齢期の児童学 - 子どもの文化的発達の理論 - 』 「第 6 章 学童の情動と創造」. 『ヴィゴツキー学別巻第 4 号』 ; 87~97 頁. 伊藤美和子・神谷栄司・土井捷三訳.	2016. 11
	ヴィゴツキー著『学齢期の児童学 - 子どもの文化的発達の理論 - 』 「第 7 リテラシーの教育とコンプレックス的教授・学習」. 『ヴィゴツキー学別巻第 5 号』 ; 145	2018. 11

	～155 頁. 伊藤美和子・神谷栄司・土井捷三訳.	
	ヴィゴツキー著『学齢期の児童学 - 子どもの文化的発達 の理論 - 』「第 8 章 いろいろなかどもたち」. ヴィゴツキー学協会ホームページ / https://vygotsky.web.fc2.com/psa_toc.html 【参照年月日 2023 年 3 月 22 日】 伊藤美和子・神谷栄司・土井捷三訳.	2020. 11
	ヴィゴツキー著「精神技術学的研究の体系における高次知的機能の問題」. 『ヴィゴツキー学増巻第 1 号』 ; 107～115 頁. 吉國陽一・伊藤美和子・土井捷三訳.	2021.11
	L. S. ヴィゴツキー著「ヴィゴツキーノート第 7 章「ザハリイノ」病院から」(共訳者名: 土井捷三、伊藤美和子、吉國陽一、西本有逸)『ヴィゴツキー学』増刊第 2 号: 83-100.	2023.11
口頭発表 (単)	文法指向型コミュニケーション・タスクの学習成果と学習活動への効果一言語活動アプローチの試み. 日本ロシア文学会研究発表会. 於: 東京外国語大学、府中市.	2002.11
	A・A・レオンチェフの言語活動理論. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学第 5 回大会. 於: 神戸市勤労会館、神戸市.	2003.11
	意味の発達と外国語の教授と学習(露語). 5-th International Vygotsky Memorial Conference. 於: ロシア国立人文科学大学、モスクワ市.	2004.11
	動的な意味体系としての人格ーロシア語学習者における意味のダイナミズム. 第 16 回日本発達心理学会研究大会. 於: 神戸国際展示場、神戸市.	2005.3
	児童学としての「年齢期の問題」. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学セミナー. 於: 神戸市勤労会館、神戸市.	2006.8
	日本におけるヴィゴツキーのアイデアの展開(露語). 7-th International Vygotsky Memorial Conference. 於: ロシア国立人文科学大学、モスクワ市.	2006.11
	ヴィゴツキーの言語思想. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学第 9 回大会. 於: 神戸市勤労会館、神戸市.	2007.9
	ヴィゴツキーはポテブニャをどう理解したか. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学第 11 回大会. 於: 神戸市勤労会館、神戸市.	2009.11
	ことばとともに在るものー遊び vs. 学びを超えてー. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー・セミナー. 於: 神戸市勤労会館、神戸市.	2012.8
	ヴィゴツキーの文体論におけるフンボルトとポテブニャの影響. ヴィゴツキー学協会主催第 14 回ヴィゴツキー学研究大会. 於: 神戸市勤労会館、神戸市.	2012. 11
	ヴィゴツキーとポテブニャ言語学(露語). 13-th International Vygotsky Memorial Conference. 於: ロシア国立人文科学大学、モスクワ市.	2012.11
	ロシアの初等教育における言語教育と教育文化についての予備的研究. 比較教育学会第 49 回大会. 於: 上智大学、東京都千代田区.	2013.7
	母語と外国語を例にした外言と内言の人格発達の分析. ヴィゴツキー学協会主催『「人格発達」の理論』翻訳出版記念ヴィゴツキー研究集会. 於: 神戸市勤労会館、神戸市.	2013.8

	言語の機能論的解釈をめぐるヴィゴツキーとポテブニャ、フンボルトの比較研究. 日本教育方法学会第 49 回大会. 於：埼玉大学、さいたま市.	2013.10
	日本の教育に対するグローバル化の影響と文化歴史的アプローチ（露語）. International Conference « Школа без границ »（独立系一般教育調査機関 Evrika 主催、国際教育研究大会「国境のない学校」. 於：モスクワ市.	2014.10
	フンボルトとヴィゴツキーの比較研究—心と自然の媒介としての「ことばの内的形 式」をめぐる—（露語）. 15-th International Vygotsky Memorial Conference. 於：ロシア国立人文科学大学、モスクワ市.	2014.11
	サンタクロースに対する態度にみる子どもの発達と人とのかかわり—保護者・大学 生対象アンケート調査を基に. 日本保育学会第 71 回大会. 於：宮城学院女子大学、 仙台市.	2018.5
	子どものことばにおける論理性と詩性—ヴィゴツキー、ポテブニャ、チュコフスキ ーから視座を得て—. 日本保育学会第 72 回大会. 於：大妻女子大学、東京都千代 田区.	2019.5
	言語教育における詩性の意義. 日本教育方法学会第 55 回大会. 於：東海学園大学、 名古屋市.	2019.9
	絵本をスロー・リーディングする試み—実践方法と課題—. 日本保育学会第 73 回 大会. 於：奈良教育大学、奈良市.	2020. 5
	絵本の翻訳は文章に対する学生の認識を高めるか—領域「言葉」に関する授業実践 から—. 関西教育学会第 73 回大会. 奈良：奈良教育大学・奈良女子大学、オンラ イン開催、奈良市.	2021.11
	保育の場にふさわしい絵本の結末の検討. 日本保育学会第 75 回大会. 於：聖徳大 学、オンライン開催、松戸市.	2022.5
	「三びきのこぶた」はどのように記憶されているか. 日本保育学会第 76 回大会. 於：熊本学園大学、オンライン開催、熊本市.	2023.5
	読み手の心を動かす作品の構造についての考察：ヴィゴツキーの『芸術心理学』を 軸に. 絵本学会. 於：大阪大谷大学、富田林市.	2023.6
	ヴィゴツキーの発達論の原理的考察. 日本教育方法学会第59回大会. 於：慶応義塾 大学、東京都港区.	2023.10
口頭発表（共）	トランスナショナル空間における記号の役割—社会学的・教育学的検討—. 共同研 究者：オリガ・クラシナ. ヴィゴツキー学協会主催ヴィゴツキー学第 21 回大会. 於：神戸市勤労会館、神戸市.	2019.11